

さいたま市女性学研究会（ゆい）「フックトーク&井戸端会議」第31回

「2025 年度 さいたま市男女共同参画推進センター公募型共催事業」

2025 年 9 月 14 日(日) 14:00~16:00

パートナーシップさいたま第3会議室

定員 24 名

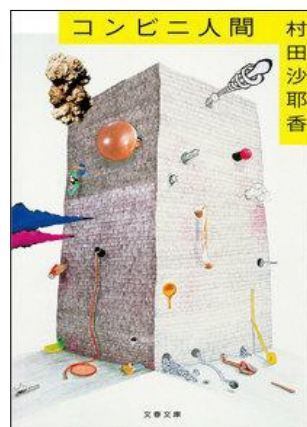
「普通」とは何か？ あなたは、この問いかけにどう答えますか？
『コンビニ人間』 村田沙耶香 文藝春秋社 単行本(2016 年) 文庫本(2018 年)

36 歳未婚、彼氏なし。コンビニのバイト歴 18 年目の古倉恵子。日々コンビニ食を食べ、夢の中でもレジを打ち、「店員」でいるときのみ世界の歯車になれる——。「いらっしゃいませー!!」お客様がたてる音に負けじと、今日も声を張り上げる。ある日、婚活目的の新入り男性・白羽がやってきて、そんなコンビニ的生き方は恥ずかしい、と突きつけられるが……。第 155 回(2016 年)芥川賞受賞作。

「普通」とは何か？ 世間のものさしを問い直すことは必要か、考えてみませんか。

参加ご希望、お問い合わせは、さいたま市女性学研究会事務局までご連絡ください。参加費 200 円。

事務局<磯部(磯部)> 電話:048-641-3765 Eメール: i.sachie@nifty.com



作者紹介 村田紗耶香



1979(昭和 54)年千葉県生れ。玉川大学文学部芸術文化学科卒。2003(平成 15)年「授乳」で群像新人文学賞(小説部門・優秀作)受賞。2009 年『ギンイロノウタ』で野間文芸新人賞、2013 年『しろいろの街の、その骨の体温の』で三島賞、2016 年「コンビニ人間」で芥川賞受賞。著書に『マウス』『星が吸う水』『ハコブネ』『タダイマトビラ』『殺人出産』『消滅世界』『生命式』『丸の内魔法少女ミラクリーナ』『信仰』などがある。